

第161号

平成13年 7月議会
(2001年)

ふなばし 市議会だより

発行 船橋市議会
編集 広報編集委員会

船橋市湊町2-10-25
電話 047(436)3012

http://www.city.funabashi.chiba.jp/
gikai/index.html



熱気あふれる市民まつり

新議員紹介

欠員となっていた市議会議員の補欠選挙が六月二十四日執行の市長選挙と同時に進行され、伊藤昭博氏、滝口宏氏、木村ゆり子氏の三氏が当選しました。

第2回 定例会

新議長及び初の女性副議長を選出 2期目の藤代市政を問う

就任あいさつ

平成十三年第二回定例会は、七月二日から七月十九日までの十八日間の会期で開会されました。初日に市長から議案の説明があり、これに対する質疑を七日に五人の議員が行いました。また、十七日には常任委員会が開かれ、付託された議案及び陳情の審査が行われました。最終日には、委員会に付託された議案、陳情及び議員提案の条例、意見書について採決が行われました。

なお、今定例会で議会役職の改選が行われ、議長に千葉満氏、副議長に清水美智子氏を選出したほか、常任委員会委員の所属変更、一部事務組合議会議員の選挙等が行われました。

議長

千葉 満



副議長

清水 美智子



伊藤昭博 議員



滝口 宏 議員



木村ゆり子 議員



生年月日 昭42・12・2
住所 二宮2-33-1
会派 パームハイツ201
日本共産党

生年月日 昭35・8・28
住所 咲が丘
会派 市清会

生年月日 昭40・11・26
住所 本町7-21-6
会派 小さな声
ネットワーク

新しい議会の構成

(本定例会において、議会の役職、所属委員会など議会の構成を新たにし、任期後半の議会活動がスタートしました。)

委員会	議会運営委員会(14人)	総務委員会(9人)	厚生委員会(10人)	環境経済委員会(10人)	建設委員会(10名)	文教委員会(10人)
委員	高木 明(公) 上林謙二郎(公) 倍田 賢司(公) ○草野 高德(共) 高橋 忠(共) 津賀 幸子(共) 佐藤新三郎(市) 米井 昌夫(市) 榎田 信明(市) 齊藤 守(新) 中江 昌夫(民) 安藤 信宏(声) 長谷川 大(ふ) ○早川 文雄(清)	清水美智子(公) 金沢 和子(共) 津賀 幸子(共) 佐々木照彦(市) 榎田 信明(市) ○野田 剛彦(新) ○安藤 信宏(声) 中村 実(ふ) 瀬山 孝一(清)	角田 秀穂(公) ○上林謙二郎(公) 伊藤 昭博(共) 岩井 友子(共) ○佐藤新三郎(市) 中村 洋(市) 大沢 久(新) 千葉 満(民) 長谷川 大(ふ) 木村 哲也(緑)	松崎 裕次(公) 倍田 賢司(公) 草野 高德(共) ○関根 和子(共) 興松 勲(市) 小石 洋(新) 中江 昌夫(民) ○さとうももよ(声) 和田 善行(ふ) 佐藤 浩(無)	鈴木 郁夫(公) 村田 一郎(公) 高橋 忠(共) ○石川 敏宏(共) 田久保好晴(市) 米井 昌夫(市) 中村 静雄(新) 池沢 敏夫(民) ○朝倉 幹晴(声) 森田 則男(清)	高木 明(公) 齋藤 忠(公) 佐藤 重雄(共) 滝口 宏(市) 田中 恒春(市) ○齊藤 守(新) 齊藤 誠(民) 木村ゆり子(声) 早川 文雄(清) ○七戸 俊治(緑)
所管事項	議会の運営、会議規則、委員会条例等及び議長の諮問に関する事項	市長公室、企画部、総務部、財政部、税務部、消防局、他の常任委員会の所管に属さない事項等	市民生活部、福祉局の所管に属する事項	環境部、経済部、農業委員会の所管に属する事項	都市計画部、都市整備部、道路部、下水道部、建築部の所管に属する事項	教育委員会の所管に属する事項

○委員長 ○副委員長

(公) 公明党、(共) 日本共産党、(市) 市清会、(新) 新風、(民) 市民連合、(声) 小さな声ネットワーク、(ふ) ふなばし21、(清) 清新会、(緑) 緑政会、(無) 無所属

常任委員会等構成一覧

各種審議会等委員

- 千葉県競馬組合議会議員 大沢 久
- 四市複合事務組合議会議員 村田 一郎、中村 洋
- 岩井 友子、中村 静雄
- 監査委員 興松 勲、瀬山 孝一
- 農業委員 齋藤 忠、高橋 忠、小石 洋
- 青少年問題協議会 中村 実、七戸 俊治、佐藤 浩
- 民生委員推薦会 津賀 幸子、中江 昌夫
- 都市計画審議会 角田 秀穂、池 佐藤、佐藤 新三郎、池 敏夫、長谷川 大
- 住居表示審議会 鈴木 郁夫、伊藤 昭博、滝口 宏、木村 哲也、瀬山 孝一
- 消防委員会 松崎 裕次、森田 則男、田久保 好晴



永年在職議員表彰

さきで開催された全国市議会議長会、関東市議会議長会及び千葉県市議会議長会の各定期総会において左記の方々が表彰されました。その栄ある伝達式が定例会開会前に行われました。



- 安藤 信宏 ○全国・関東・千葉県市議会議長会在職三十年表彰
- 小石 洋 千葉 満
- 齋藤 忠
- 千葉 満 ○全国・関東市議会議長会在職十年表彰
- 佐々木照彦 清水美智子
- 田久保好晴 齋藤 忠
- 清水美智子 田久保好晴
- 佐々木 照彦 小石 洋
- 安藤 信宏 森田 則男
- 早川 文雄 早川 文雄

小仲井富次議員逝去



小仲井富次議員(緑政会)は、去る六月二十一日に急逝されました。享年七十一歳でした。故小仲井富次議員は、昭和

五十年四月に市民の衆望をになつて市議会議員に当選して以来、通算二十六年余にわたつて市政の発展に尽力されました。この間、経済衛生委員会、文教委員会の委員長をはじめ、常任委員会や特別委員会の委員、各種審議会委員、農業委員を歴任し、平成十一年五月からは監査委員をされておりました。特に、障害を持つ人々への思い入れは強く、肢体不自由児者の福祉の向上のため、就労場所の確保や社会参加の方策に努められました。また、商工業の活性化においても、精力的に取り組みしておりました。不幸にして他界されましたことは、まことに痛恨の極みであります。故人の生前の功績をしのび、心からご冥福をお祈りいたします。

議案について

議案の概要

条例関係

船橋市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 〔第一号〕

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、補償基礎額を引き上げるもの。

船橋市消防団員退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例 〔第二号〕

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正に伴い、退職報償金の額を引き上げるもの。

公共地下通路等整備工事請負契約の締結について 〔第三号〕

四億一千五百八十万円

高瀬下水処理場建設工事(第三期工事)委託契約の締結について 〔第四号〕

八十九億円

その他

専決処分の承認を求めること(船橋市市税条例の一部を改正する条例) 〔第五号〕

専決処分の承認を求めること(船橋市都市計画税条例の一部を改正する条例) 〔第六号〕

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、制定に急を要し、専決処分したもの。

監査委員選任の同意を求めることについて〔第七・八号〕

二面に掲載

議員提出の条例案

船橋市まちづくり理念支援条例 〔発議案第三号〕

大型のマンション建設等によって、市が進めようとしているまちづくりが行き詰まらないよう、事業者の行為を市民全体の監視によって、まちづくりの理解と協力を求め、調和のとれたまちづくりを進める必要があるとするもの。

審議経緯及び採決結果

十二日に佐藤重雄議員ほか十四人から提出され、提案理由説明の後、建設委員会に付託された。同委員会では、基本構想等との相違の判断基準は何か等の質疑があった。討論では原案反対として、「更全体のまちづくりを律する条例なのに余りにも性急な提案で、内容の検討には十分な期間が必要。現行条例等の諸制度には、既に本条例案の意図が盛り込まれており、この活用により十分対応可能」等の意見があった。

原案賛成として、「用途地域に合った土地利用、将来に向けたまちづくりとの整合を求める声が再三出されており、都市計画上の用途が侵されようとしている時期のため、この条例の制定が必要」等の意見があり、採決の結果、賛成少数で否決された。

最終日の本会議での採決の結果、賛成は日本共産党、市民連合、小さな声ネットワークのみであり、賛成少数で否決された。



議案に関する質疑

市清会は、五会派(市清会・新風・ふなばし) 21・清新会・緑政会を代表して質疑しました。

小さな声 ネットワーク

第三号について

問 参考資料として添付されている「案内図」は、古いものが使われているのでは。

答 測量図をもとに平成六年撮影の写真に手を加えたもので、今後気を付けたい。

問 駅前再開発の地下三十三メートル杭打ちは、将来の地下活用を配慮したものか。

答 将来の駅周辺の建物を含めた地下利用計画の際の接続工事等も意識した。

問 日本下水道事業団には各自治体から負担金を払っており、負担額は人口をベースとしたものだが、本市の

場合、下水道対象人口からするとワンランク下の負担金でもないのではないかと。人口十万人以上の市が負担することと全国市長会で了承されている。出資金は、各関係機関が協議の上、財政上の負担能力等勘案して比較規模の大きい市が負担することとして現在に至っている。

問 設計監理手数料の率の幅を、事業内容の難易によって安くしてもらえないか。

答 下水道建設は多くの技術者を必要とし、人件費を考慮し、委員事務費は、法律により規定されている。参考資料は、議案提出の理由を明確にすべきでは。

問 参考資料は、議案提出の理由を明確にすべきでは。

答 今後、わかりやすいものになるよう、工夫したい。

日本共産党

第三号について

問 既に本工事を請け負っている共同企業体に、随意契約をした理由は。

答 再開発ビルとの作業エリアの重複、工事の安全で適切な施工、瑕疵担保責任の明確化、経費削減等による。

問 もっとと工費を安くする考え方はなかったのか。

答 設計金額との差が一〇・一%であり、相当な契約できたと考えている。

問 今後、どう市内業者へ工事の発注を拡大するのか。

答 海城の事前調査、供用開

市民連合

第一号・第二号について

問 自主防災組織員を準団員として登録し、補償制度を法制化する必要はないか。

答 根拠が消防団と異なるので難しい。現行制度での運用を図っているが、他市の状況等調査し、検討したい。

問 消防団員の退職報償金は、階級によって差をつけるのではなく、同一化できないか。

答 対応できると考える。

問 現場管理費の四・二%は高率と思うが、査定根拠は。

答 市の基準、再開発ビルの

答 貢献度を階級・年数を尺度としているので、難しい。

第三号について

問 この地下通路は、将来はA・B地区と連絡するの。

答 将来の駅周辺の建物等を含めた地下利用計画の接続工事等も意識している。

問 船橋駅南口再開発によって、南口周辺の放置自転車はなくなるのか。

答 対応できると考える。

問 現場管理費の四・二%は高率と思うが、査定根拠は。

答 市の基準、再開発ビルの

電気二名の計七名である。

第五号について

問 商品先物取引所得が申告分離課税となった背景は。

答 個人を初め幅広い投資家の市場参加促進が目的。

問 固定資産税特例措置適用の被災住宅の「被災」とは。

答 震災、風水害、雪害、落雷、噴火等の自然現象及び火災、爆発等の人為的災害

問 高齢者向け賃貸住宅の固定資産税軽減措置のPRは。

答 本市広報のほか、関係機関窓口での周知も要請。

公明党

第一号について

問 公務災害の基礎額の引き上げ額が少ないのでは。

答 人勤を基とし、配偶者以外の扶養手当のみとした。

問 団員の減少要因は何か。

答 始後の水質調査等を行っているが、影響は出ていない。委託せずに、市職員だけでは対応できないのか。

答 処理場の特質性から専門性が高く、委託協力が必要。

会議の経過

七月二日(月)

- 開会
- 会期の決定
- 故小仲井議員に対する追悼の件
- 議案の提案説明
- 議長・副議長の選挙

三日(火)

- 常任委員会委員の所属変更等

六日(金)

- 一部事務組合議会議員の補欠選挙
- 人事議案の提出・採決
- 議案に対する質疑
- 議案の付託

九日(月)

- 一般質問

十日(火)

- 一般質問

十一日(水)

- 一般質問

十二日(木)

- 一般質問
- 陳情の付託
- 議員提出条例の説明・付託

十八日(月)

- 常任委員会
- 付託事件の審査報告及び採決
- 議員提出議案の採決
- 閉会



常任委員会の動き

総務委員会

審査事件

- 議案2案
- 陳情1件

審査の概要

議案について

第1号船橋市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正

する条例については、「六月に、消防団員と消防協力者の公務災害が発生したということだった。いつ起こるかかわからない災害では、限られた正規職員の活動に消防団員等の協力を得ることは重要であるが、それらの方々が、危険な場面に遭遇することはしばしばある。今回の改正点は、扶養加算額の改正だが、後顧の憂いなく活動してもらうためすべきものと決した。」

第2号船橋市消防団員退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について

「消防団員の活動が公共性の高い、市民の生命・財産を守るものであることを考えると当然の改正であり、一層の制度充実を図るべきと考える」との討論があった。

2案とも質疑はなく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決した。

陳情について

第16号トラック輸送における安全確保等の意見書提出に関する陳情については、多数で不採択とすべきものと決した。

建設委員会

審査事件

- 議案2案
- 発議案1案
- 陳情7件

審査の概要

議案について

第3号は、随意契約による経費削減、エレベータ・階段の地下二階まで延長、パー

第4号は、流入水量予測の積算根拠、リン除去対策、処理場完成後の面整備計画、人口減に伴う全体計画見直等の質疑、「全体計画見直し中の本議案提出は反対」との反対討論、「現在の都市基盤には必要な施設」との賛成討論があり、採決の結果、小さな声ネットワークの委員を除く多数で可決すべきものと決した。

「最善の形」の判断基準、「基本構想・都市計画マスタープランの具体的な記述部分、市民の声の反映、罰則規定、第1条について「調整」の具体的方法、「事業者」の定義

開発」の規模、第3条について「是正要請」の実効性、「基本構想等との相違」の判断基準、第5条について事業者の営業妨害、「第三者」への告知方法等の質疑、「提案が余りにも性急。現行条例・手続等諸制度の活用で十分対応可能」「事業者等の妨害が目的であり、購買予定者等への告知目的が不明。罰則規定がないため効果が期待できない。建築紛争解決には既に条例を制定済みである。」との反対討論、「本条例を現行条例に盛り込むのは困難、基本構想・マスタープランに反する開発を許せば、構想・プラン自体がむだとなる」「本市の都

文教委員会

審査事件

- 陳情1件

審査の概要

議案について

第3号私立学校の教科書選択の状況は、④国の動きはどうなっ

ているのか等の質疑があった。意見として、「今までの採択のあり方には問題があると思うが、現行法では学校単独で採択するのは不可能であり、意見書提出ならいいが、このままでは不採択」「中立性・公平性をより担保する制度改革を行い、よりよい採択方法を見出していくべきであり、不採択」「今の段階での自由採択は、現場が混乱すると思うので、不採択」「法律に反しての採択は不可能であるし、技術的な面や公正さを保つ上から、不採択」「教科書がすべて

を決定するわけではなく、先生次第である。地域・生徒の特色に沿ったものがあってもいいが、現実論として、公正さも含め、学校の自由裁量は難しい。法の規制緩和にあわせ、各学校・各先生方の力がつくような体制づくりを要望し、不採択」「学校の自由採択は、組織体制ができてないと難しいが、閣議決定もされており、しばらく検討したいので、継続」との発言があった。

継続審査は賛成少数で否決され、採択に賛成も少数であり、不採択と決した。

議会運営委員会

議案について

- 議案1件

議案の概要

議案について

議場に国旗掲揚に関する陳情は、平成十一年第四回定例会に提出され、今回は、「国旗でなく市旗掲揚で足りるので、継続から不採択に態度を変え」との意見も出されたが、多数で継続審査となった。

議案議決結果一覧表

議案番号	件名	各会派の賛否								議決結果		
		市	新	ふ	清	緑	公	共	民		声	無
第1号	船橋市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2号	船橋市消防団員退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第3号	公共地下通路等整備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
第4号	高瀬下水処理場建設工事(第三期工事)委託契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
第5号	専決処分の承認を求めることについて(船橋市市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	承認
第6号	専決処分の承認を求めることについて(船橋市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

○-賛成 ×-反対 市(市清会) 新(新風) ふ(ふなばし21) 緑(緑政会) 公(公明党) 共(日本共産党) 民(市民連合) 声(小さな声ネットワーク) 無(無所属)

可決された意見書

京都議定書の早期発効等に関する意見書

地球温暖化防止のため、C0規制、代替エネルギーの開発等及び環境負荷の小さい自然エネルギーを開発促進するための法制度の整備を早急に行うことを強く要望する。

乳幼児医療費無料化に関する意見書

する意見書
少子化傾向への歯止め及び子育て環境整備のため、国の制度とした乳幼児医療費無料化制度を早急に実現するよう強く要望する。

興策の抜本的充実を図るための芸術文化振興基本法を早期に制定するよう強く要望する。
トラック輸送における安全確保等に関する意見書
一、運賃引上げ強要を調査し、運賃引き下げ強要により売上を量で確保する等の違法行為に対して、荷主指導を適切に行うこと。
二、貨物の搬出・搬入に関し、過積載やスピード超過、届け出運賃の厳守を図るよう、指導・通達の徹底等、必要な措置を講ずること。

三、国会決議に従い、早急に「自動車運転者の労働条件の向上を図ることを目的とする」と定めた改善基準告示の遵守によって、早急に労働時間の短縮を図ること。
四、ディーゼルの排ガス規制のため、政府とメーカーの責任で低公害車の開発、軽油の良質化を図るとともに、中小トラック業者への適切な援助を実施すること。以上、強く要望する。

一般質問 ここがききたい



市長の政治姿勢について

問 今回の市長選の選挙結果についてどのような見解を持っているか伺いたい。

答 一期目の市政運営に対して一定の評価をいただいたと同時に、今後の市政運営への期待の大きさと責任の重さを痛感し、これに答えるため全力を注いでいく。

問 一期目のスタートに当たり、市長の政治理念を伺いたい。

答 「市政は市民のものである」ということを常に念頭に置き、市政運営に当たらなければならぬと考えている。

問 市長の公約で、「環境にやさしい安らぎのまちづくりを求め、人と自然の共生の街づくりを推進する」としている。現在、浜町地先に建設されている高層マンションに関して、地元住民との間に起きている諸問題に対して、行政としてどのように対応していくのか。

答 事業者に対し、再三、全体計画の明示を要求しているが明らかにならない。法的な手続から見ると厳しい状況であるが、私自身が事業の責任者に対して直接申し入れることを含め、市のまちづくり全体を観点から、より強い姿勢で可能な手段をとっていききたい。

西船橋出張所の設置を求める

問 JR西船橋駅北側にある西船橋連絡所については、単なる移転ではなく、出張所に昇格して建設するべきではないか。

答 西船橋連絡所については、JR跡地の多目的広場に移転

し、出張所機能を持った施設として建設することを考えていきたい。

市営公園について

問 個人や夫婦単位で申し込める共同形式の合葬墓を検討する考えはないか。

答 少子化や家の意識の変化で多様化する墓地需要、合葬施設のままさまざまな形態、特色等があることから、今後、検討したい。

青少年を薬物から守るために

問 厚生労働省が麻薬・覚醒剤防止センターに事業委託している薬物乱用防止キャラバンカーの積極利用を図れないか。また、同センターでは、ホームページを公開し、実際にクイズなどを行う中で薬物に関する正しい知識を啓発しているが、このようなものを利用していく考えはないか。

答 各学校に、麻薬・覚醒剤防止センターのホームページを紹介し、キャラバンカーの積極

公園の安全管理について問う

問 市の管理外の公園及び遊具などの安全管理については、これまでどのように行われてきたのか。また、今後、管理等に関して指導していく考えはあるか。

答 各団体等で自主管理をしていくことから、今後もそれぞれの立場で安全管理に努めてもらえるものと考えている。

問 市内の公園での事故に関する細かな原因の調査と分析をしているのか。また、調査に基づいた安全管理のビジョンを持っているのか。

答 事故について把握しているのは、市で管理しているものである。細かな原因の調査は行ったことはない。管理ビジョンについては、公園・児童遊園等の管理マニュアルを作成して、各施設を細かく点検し、改修、修繕を行い、公園内での事故の未然防止に努めている。

IT講習会について

問 一人でも多くの希望者が受講できるように考えていくべきかと講じているのか。

答 学級担任や教科担任が中心となっており、当該児童生徒の実態に基づき交流授業計画を立案し、日々の実践に努めている。

障害児教育のあり方

問 普通学級に障害を持つ子どもが在籍している現実に対応するため、介助員を配置するなどの対応をするべきではないか。

答 教員、ボランティア、保護者等による当該生徒への指導体制を図り、サポートしている。このような状況も踏まえ、これからの障害児教育のあり方等についても、六月に立ち上げた「市立学校等将来計画検討協議会」において、必要に応じて、検討していきたい。

都市型水害対策

問 新興住宅地において、水害発生が問題となっている。新築住宅の建築にあたり、業者は市に誓約書を提出しているが、業者の責任を明確にした厳しい内容に改めるべきではないか。

答 建築確認申請の際に、放流同意書を添付することは違法とされている。管理者と建築主とのトラブルを未然に防ぐ目的で、建築確認申請の機会をとらえ行政指導を行っているが、関係各課と協力し、一層の指導強化に努めたい。

問 家庭での雨水利用を積極的



まちづくりを問われる高層マンション建設

陳情議決結果一覧表

付託委員会	受理番号	件名	本会議の結果
総務	陳情第16号	トラック輸送における安全確保等の意見書提出に関する陳情	○ 多
建設	陳情第17号	丸山市民の森に隣接する雑木林の開発中止等に関する陳情	○ 全
	陳情第18号	船橋駅南口市街地再開発事業の見直しに関する陳情	× 多
	陳情第38号	海老川上流地区区画整理反対に関する陳情(継続審査事件)	△ 多
	陳情第31号	市営テニスコート増設中止等に関する陳情(継続審査事件)	△ 多
	陳情第32号	市営テニスコート料金の見直し等に関する陳情(継続審査事件)	△ 多
	陳情第81号	山一証券跡地のマンション建設計画に対する指導等に関する陳情(継続審査事件)	△ 多
文教	陳情第82号	山一証券跡地の住宅建設計画推進に関する陳情(継続審査事件)	△ 多
	陳情第19号	教科書採択に関する陳情	× 多
議会運営	陳情第76号	議場に国旗掲揚に関する陳情(継続審査事件)	△ 多
	陳情第1号	市議会定例会会議録閲覧の利便性向上等に関する陳情(継続審査事件)	○ 多

○-採択 ×-不採択 △-継続 全-全会一致 多-多数



日本共産党

市長公約について

問 地域経済活性化のため、どのような施策を行ってきたのか。また、今後の施策を開きたい。

答 工業振興策として、商工会議所と連携をとり、異業種交流事業等、新しい事業分野への進出研究や人材育成等である。商業振興策としては、商店街活性化アドバイザー派遣事業、プレミアム付き商品券発行事業等、地域経済の活性化を図ってきた。現在、将来像とその実現のため、「商工業振興ビジョン」の作成に取り組んでいる。今後、この商工業振興ビジョンにて施策を明らかに進めていきたい。

問 少人数学級の実現に向け、具体的にどうしていくのか。

答 少人数学級の実現は、市民が切に希望していると認識しているため、国・県に対し強く働きかけていきたい。

問 重点公約に、「子どもから高齢者までみんなが輝く温かなまちづくり」とあるが、介護保険について触れていない。認識を伺う。

答 特別養護老人ホームの待機者が急増するなどの問題が起きている。この対応が課題と認識している。全国市長会にて、基盤整備の推進等を国に対し決議・要望をしたところである。特に都市部での土地確保に対する公的支援の拡充について、国等に対し働きかけていきたいと考えている。

低所得者の利用料について

問 低所得者の利用料について、利用料が払えずサービスが使えない事態を繰り返してきている。利用料の返し指摘してきた。利用料の助成について、補正予算を組み年度内の実施を求める。

答 現在、ホームヘルプサービスについては実施しているが、他市では、訪問看護、訪問入浴について実施しているところが多い。今後、前向きに検討していきたい。

光風みどり園で、この冬の雪の日、通所者に連絡せず通園バスの運行を中止してしまうことがあった。福祉施設の運営をどう認識し、改善に取り組むのか伺う。

答 職員の資質向上について、定期的に行っている指導員会議・ケース会議等を通して職員一人一人が障害者福祉のあり方、施設の役割と使命等について自覚するよう指導していきたい。

歴史教科書問題について

問 「新しい歴史教科書」(扶桑社)について、執筆者の主観や狭い人種観等、科学的な検証に耐えられない教科書を公教育に持ち込むことについての見解を伺う。

答 当該教科書も国の検定を通過している教科書であるため、これを含め公正かつ適正に取り扱うことが重要と考える。現時点での認識等は、差し控える。

浜町マンション建設について

問 旧山一証券グラウンド跡地のマンション建設計画について、施工業者から地域住民に対し全体説明がない。市の行政指導に対しても見直しがなく、市の基本構想である「まちづくりの基本理念」の点からどう考えているのか。

都市計画法等に適合した建築計画に対し強制力を伴う行政指導は困難と考える。今後、早急に全体計画を提示し近隣居住者等と誠意を持って話し合うよう行政指導していきたい。

答 保険料を払っていながら、入所を希望しても入れない施設がないのが現状である。市は、国・県に対し事態に見合った施設整備を急ぐよう要望し、市独自でもその対策を早急に進めるべきではないか。

国民健康保険料について

問 現在、保険料滞納世帯が増加している。高すぎる保険料が原因と考えるが、一般会計からの繰り入れを増額し保険料の引き下げを検討できないか。

答 保険料の算定については、世帯所得状況など各種の条件等をもとに計算しているが、低所得世帯については、軽減制度がある。一般会計からの繰り入れの増額は、限界があると考える。

乳幼児医療費助成制度について

問 保護者の経済状況にかかわらず子どもの健全育成を保障するという観点から、この助成制度に対する市の見解を伺う。

答 現在、県において給付・所得制限及び自己負担等のあり方についての見直しを行う方針である。今後の県の動向を踏まえ検討していきたい。

保育園について

問 新設する保育園の運営を民間に委託することは、採算が優先され、公平な保育の保証がない。公設で行うべきではないか。

三番瀬のラムサール条約登録について

問 三番瀬のラムサール条約登録に向け市の取り組みを聞きたい。

答 本市、市川市、浦安市で構成する三番瀬保全再生連絡協議会を設置し、ラムサール条約の登録を視野に入れた検討を行い、国・県へ働きかけている。

住民基本台帳ネットワークシステムを問う

問 住民基本台帳ネットワークシステムの稼働に向けセキュリティ対策はどうか。

答 大切な個人情報を取り扱うことから、制度面・技術面・運用面で万全の対策を行う。

船橋駅南口再開発ビルの有効利用を求める

問 船橋駅南口再開発ビルの公共公益床については、市の窓口など市民にとって利便性の高いものや、市民の情報拠点となり得る施設を設置すべきと思うがどうか。

答 市民の利便性の高い施設、コミュニティセンター的要素を持った総合的な施設等、ビルにとって最良の施設導入を検討している。

不法駐輪対策を問う

問 JR津田沼駅北口の駐輪施設不足の解消に努力する気構えはあるのか。

循環型社会構築のため、処理水を河川へ還元することとは、重要なことであると認識している。

問 下水道管に光ファイバーを通し情報網を整備するなど、共同溝等多目的な利用についての考えを聞きたい。

答 本市の下水道普及率は低く、下水道管のネットワーク化が図られていないため、普及率が向上した時点での研究課題とする。

住宅密集地域の環境対策

問 まちづくり活動の相談窓口を開設したと聞いているが、マンション建設対応策にどう利用するのか。

答 七月二日に相談窓口を開設したが、今後、広報ふなばし、市内の地域に根ざす団体等へ当該窓口のPRに努めるとともに、実績を重ね、情報の蓄積を図り、窓口の充実にも努めていく。

飲料水の安全性確保を

問 亜硝酸窒素等の人体に及ぼす有害性の対策として、浄水器の設置について助成している市もあるが、本市はどうか。

答 本市は、全域が水道供給可能地域であるので、水道の布設について助成を行うことにより、より安全性の高い水を確保することを基本としている。

防災倉庫について

問 防災倉庫の体制は、地域的に見てどうか。

無所属

問 七か所の防災倉庫と五十の小学校に備蓄している。今後の防災体制の地域的見直しと備蓄品の見直しの予定はどうか。

答 本年度より、三年間かけて地域防災計画の見直しを行うので、その中で見直ししていく。

新風

循環型社会構築のため、処理水を河川へ還元することとは、重要なことであると認識している。

問 下水道管に光ファイバーを通し情報網を整備するなど、共同溝等多目的な利用についての考えを聞きたい。

答 本市の下水道普及率は低く、下水道管のネットワーク化が図られていないため、普及率が向上した時点での研究課題とする。

住宅密集地域の環境対策

問 まちづくり活動の相談窓口を開設したと聞いているが、マンション建設対応策にどう利用するのか。

答 七月二日に相談窓口を開設したが、今後、広報ふなばし、市内の地域に根ざす団体等へ当該窓口のPRに努めるとともに、実績を重ね、情報の蓄積を図り、窓口の充実にも努めていく。

飲料水の安全性確保を

問 亜硝酸窒素等の人体に及ぼす有害性の対策として、浄水器の設置について助成している市もあるが、本市はどうか。

答 本市は、全域が水道供給可能地域であるので、水道の布設について助成を行うことにより、より安全性の高い水を確保することを基本としている。

防災倉庫について

問 防災倉庫の体制は、地域的に見てどうか。

駐輪場の整備拡大を急げ(JR津田沼駅北口)

問 駐輪場の整備を努力していく。足ると認識しており、今後も引き続き重点的に駐輪場の整備を努力していく。

答 新たに用地を確保することとは難しく、ソフト面として一方通行化や車輦の減速化等地元の方々の協力を得て、歩行者に優しい道路づくりに努めていく。

その他の質問

① 学校開放と児童生徒の安全確保の考え方について
② 学校施設の使用に関する明確な基準について
③ 高瀬下水処理場の空間利用ピットづくりについて
④ 金杉小学校等で秋春二回の通知表を出すシステムの評価について
⑤ 不登校児童対策の適応指導教室の経過と評価、今後の発展充実について
⑥ 都市計画道路三・三・八号線(古作町前原東一丁目線)の早急な建設について
⑦ PFIの具体的導入策について
⑧ 用途地域の見直し策について
⑨ 公共施設に洋式トイレを増設することについて



浜町の大型マンション建設予定地



市清会

市長の所信を伺う

問 四年前の市長公約の一つであった市民の声を聞く市政の実現として実施した市政懇談会の継続の有無、継続する場合の今後の実施方法について聞きたい。

答 今後の継続については、市民の切実な問題を直接聞けること、市政への期待感が肌で感じられること及び参加した市民から市政が身近に感じられるという声も聞かれることから、今までの懇談会を参考とし、今後の運営方法を検討している。秋頃に第一回を開催したいと考えている。

問 現在まで二十三回行われた市政懇談会の要望で、実施すると回答した要望の執行率を聞きたい。

答 実施済、実施中、国・県等へ要請したものを含んで六二・三％となっている。その他については、検討中が三二・四％、未実施が〇・三％、その他実施困難が五・〇％である。

問 地域経済の活性化への取り組みとして、商店街の衰退に対し地域全体での活性化が必要と考える。各商店街でも大型店や大きなスーパーができたという後退した考えではなく、地域住民と合同で攻めの共同作戦が必要である。例えば、高齢化社会を迎えひとり暮らしの高齢者、高齢夫婦世帯等へのご用聞き、配達等の地域全体で助け合うという方法が必要と考える。このよ

うな観点から、行政としてどのようなテコ入れを考えているのか。

答 本年度において商工業振興ビジョンを策定し、新たな時代に適合する商店街活性化のための施策を明確に示すとともにその支援策を積極的に推進していきたいと考えている。また、宅配事業については、船橋市商店街連合会が調査研究事業に着手し、今年度は、実態調査を実施し、次年度以降にモデル商店街を指定した実験を行い、事業化が可能な商店街から宅配事業を本稼働させる予定である。

問 学校環境について

問 昨年、教育委員会が設置した「船橋市立学校等将来計画検討協議会」の設置目的を聞きたい。

答 時代の進展、社会情勢の変化に対応した船橋市立学校等の将来計画を描くための協議を尽くしたいという

問 地域の中の学校という観点から、学校の安全と開放の両立をどう図っていくのか。

答 地域に開かれた学校づくりの推進の中の安全確保は、PTAや地域住民との活動等、地域ぐるみで児童生徒を守っていくことが最善の対策と考える。



松が丘バス通り商店街

ことである。現在、船橋市の教育行政が抱える問題は数多く、それらの解決に向け中・長期的ビジョンを示すこととしては、市民からの信頼を得ることはできないと考え、本協議会の協議により、船橋の教育の未来に夢と希望を持ってもらいたい。

問 学校運営に広く地域から意見を求める学校評議員制度が各市町村に設置が認められたが、その制度を導入し、生徒の保護者や地域住民の意見を把握し学校運営に反映させる考えはないか。

答 真に実効ある制度とするためには、時間をかけ推進体制を整備する必要から、「船橋市立学校等将来計画検討協議会」で検討されるものと考えている。

問 学校敷地内の樹木がその立地条件等によっては、隣接する民家の屋根等を覆いつつも暗い場所をつくっている場所がある。犯罪を助長すると思われるがどうか。

答 学校の樹木は、地域社会に「うるおい」と「やすらぎ」のある環境を提供する役割もある。樹木のせん定については、定期的及び学

問 車のアイドリング、路上駐車に対する対応はどうか。

答 不必要なアイドリングに対する対策として、「アイドリングストップ推進運動」

多くのペットが飼われるようになり、道路や公園等の糞尿汚染やむだ吠え等の多くのトラブルの発生する要因になっている。市としては、飼主のマナーアップが重要と考え、市広報紙への掲載、ポスターの掲示、動物の飼い方等のパンフレットの作成及び迷惑防止のプレート等の無料配布を通じ、基本的マナーの啓蒙に努めている。

ふなばし21



自衛隊の協力による合同防災訓練

交通施設のバリアフリー化

問 営団西船橋駅のバリアフリー化事業の着手時期及び現時点での供用開始時期を聞きたい。

答 安全面での一部設計変更を行ったことから、九月頃の着工となる。また、供用開始時期は、乗降客が多く、夜間工事となるため、改札内のエスカレーターについては、平成十三年度、エレベーター及び南側階段部分は、十四年度末を予定している。

問 北口階段のバリアフリー

問 横須賀市及び関係機関と日程及び訓練内容を協議し、早い時期に実施したいと考えている。

答 横須賀市及び関係機関と日程及び訓練内容を協議し、早い時期に実施したいと考えている。

問 九月に防災訓練が実施されるが、自衛隊に対しどのような協力を要請するのか。

答 陸上自衛隊第一空挺団から炊飯車による非常炊き出し訓練及び人命救助システム資機材の展示等、住民への啓蒙等を計画している。

清新会



「海を活かしたまちづくり」について

問 「海を活かしたまちづくり」の中で、浜町親水公園、そして阪和興業、船溜り、日の出公園に至る回遊性のあるまちづくりをどのように考えているか。

答 市民にとって親しみと魅力あるベイエリアを創出するため、当該地区における回遊性のあるまちづくりを含めて、「海を活かしたまちづくり推進協議会」で検討しているところである。

問 中学生の作文で、海の水を直接肌で感じる事ができるような利用方法、海を誇れる船橋にするための方法等が書かれていたが、子どもたちの意見、アイデアを聞く考えはあるか。

答 歩道橋の必要性は理解しているが、積極的に国・県へ働きかけていきたい。

問 日の出交差点における横断歩道橋の設置について、今後、地元として、国・県に要望書を提出する考えはあるが、市の考え及び協力体制はどうか。

答 歩道橋の必要性は理解しているが、積極的に国・県へ働きかけていきたい。



ベイエリアの活性化を(船橋港親水公園)

迷惑防止法

問 核家族が進む中、ライフスタイル、ニーズの多様化等目まぐるしく変わる現在の社会で他人に与える迷惑行為は多様化している。具体的に、ペットの犬・猫の放し飼いや糞尿への苦情が市民からあるが、その対応はどのようにしているのか。

答 高齢化、核家族化さらに独居化が進行する生活環境の中で犬・猫を初めとする



中学生によるクリーン推進運動

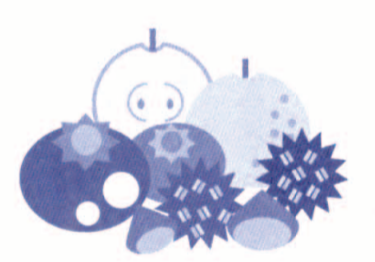
多くのペットが飼われるようになり、道路や公園等の糞尿汚染やむだ吠え等の多くのトラブルの発生する要因になっている。市としては、飼主のマナーアップが重要と考え、市広報紙への掲載、ポスターの掲示、動物の飼い方等のパンフレットの作成及び迷惑防止のプレート等の無料配布を通じ、基本的マナーの啓蒙に努めている。

問 車のアイドリング、路上駐車に対する対応はどうか。

答 不必要なアイドリングに対する対策として、「アイドリングストップ推進運動」

を展開している。特に春と秋には、アイドリングストップ強化週間を定め、アイドリングストップ推進横断幕の設置、送迎バスを対象とした協力チラシの配布等、様々な運動を展開している。また、違法駐車については、「違法駐車等防止条例」を施行し、違法駐車等の防止に努めている。今後も、警察、町会・自治会等と連携を図り、駐車防止の呼びかけ等を推進していきたい。

を展覧している。特に春と秋には、アイドリングストップ強化週間を定め、アイドリングストップ推進横断幕の設置、送迎バスを対象とした協力チラシの配布等、様々な運動を展開している。また、違法駐車については、「違法駐車等防止条例」を施行し、違法駐車等の防止に努めている。今後も、警察、町会・自治会等と連携を図り、駐車防止の呼びかけ等を推進していきたい。



市民連合

市長の政治姿勢について

問 二期目に期す留意点として、自信と確信をもって市政を担っていただきたいがどうか。

答 市長就任以来「市民に開かれた清潔な市政」の実現に意を注ぎ、誠実に市政を運営してきた。これからも過信することなく、市政運営に努めていく。

問 一期目の公約の女性助役の登用はどうか。

答 今後も、人材の確保等を見ながら登用の可能性を探っていく。

問 市長選において、推薦を受けた団体の市への依存に對する考えはどうか。

答 団体との関係については、一線を画して対処してきている。

問 落下傘部隊等の訓練機の環境問題・騒音問題があるが、自衛隊の協力会会長として、止めることを要請できないか。

答 自衛隊協力は、隊員の激励等を行っており、災害時に緊密な連携を図る上からも意義があると考えている。自衛隊周辺の騒音問題については、引き続き航空機騒音調査を行い、必要に応じて国へ要請していく。

問 大型マンション建設に伴い、入居する小中学生の通学路の安全確保について

答 総合的な視野を持ち、取り組む必要があると考えられているが、事前に各関係各課、地域



マンション建設と一体化した通学路の設備を

問 学路の安全確保を図るため、横断歩道・セーフティコーン、信号機の設置箇所など、信号機の設置箇所など、路の確保に努めていく。

答 住民、学校等との協議を進める中で、より安全な通学路の確保に努めていく。

問 交通渋滞解消に向けて、現在、京成本線の立体交差化事業、都市計画道路整備事業等が挙げられるが、これらと並行して、交通渋滞が発生しやすい箇所、右左折専用レーン、または信号機に右左折表示案内を設置することで、交通渋滞の解消が大きく前進すると考えるがどうか。

答 交差点改良は交通渋滞解消策として有効であり、路線としての整備のほか、市内の幹線道路四十五カ所の交差点を改良すべく進めている。また、幹線道路以外の交差点も事業着手しており、今後とも、市内の交通渋滞解消に向け、関係機関と協調を図り努力していく。

交通渋滞解消を求める

問 「凌雲荘」の現況と今後の見通しはどうか。

答 山崎別荘のあった東船橋緑地に隣接する民地沿いの危険な擁壁を改修し、緑地を整備して市民の方々に開放していくためやむを得ず解体したが、詳細図面を作成し、主要部材を将来の再活用に向け保管している。

会派の構成

現在の会派及びその所属議員は次のとおりです。

◆公明党 (9人)

角田 秀穂
松崎 裕次
高木 明夫
鈴木 郁夫
清水 美智子
斎藤 忠
倍田 賢司
村田 一郎
上林 謙一郎

◆市民連合 (4人)

斎藤 誠
中江 昌夫
池沢 敏夫
千葉 満

◆小さな声ネットワーク (4人)

木村 ゆり子
安藤 信宏
さとう ももよ
朝倉 幹晴

◆日本共産党 (9人)

金子 和子
草野 昭博
伊藤 友忠
高橋 幸子
岩井 友子
津賀 敏子
石川 敏子
佐藤 重雄
関根 和子

◆ふなばし21 (3人)

中村 実
長谷川 大
和田 善行

◆市清会 (9人)

滝口 宏
佐藤 新三郎
田久保 好晴
佐々木 照彦
興中 照彦
中村 恒洋
田中 恒春
米井 昌夫
楠田 信明

◆清新会 (3人)

森田 則男
早川 文雄
瀬山 孝一

◆緑政会 (2人)

木村 哲也
七戸 俊治

◆新風 (5人)

野田 剛彦
斎藤 守彦
中村 静洋
小石 洋
大沢 久

◆無所属 (1人)

佐藤 浩

小さな声 ネットワーク

夜間の公園、児童遊園の安全対策を求める

問 夜間の公園、児童遊園のバトロール状況はどうか。

答 若者達の溜まり場、ホームレスが居座っている公園・児童遊園は、警察へバトロールの実施を依頼している。

問 JRからバリアフリー化を優先する回答を得ており、屋根・エレベーター等設置を含めて協議する。

問 小学校通学路に見張り番を配置し、安全確保すべき。

答 各学校の実情に合わせて、保護者、地域ボランティア、教師などにより実施しており、危険箇所には信号機の設置を働きかけていく。

問 街灯に樹木が覆いかぶさるり暗くなっている公園、児童遊園の対策はどうか。

答 樹木が街灯にかぶらないようせん定する。

問 安全に歩ける街づくりについて

問 西船橋駅北口階段をバリアフリー化すべき。



連絡所の業務拡大を図れ

問 行政サービスの拡大を図れ

問 連絡所の業務拡大を問う。

答 税関関係の証明書発行業務について関係課と協議する。

問 夜間や休日対応の窓口体制を問う。

答 各課が実情に沿って効率・効果的に対応しており、さらなる体制は考えていない。

問 DV防止・早期発見のための施策を問う。

答 本市及び警察や婦人相談所等のネットワークとして協議会を設置し、協議会を核とし、情報の収集、被害者からの相談や支援を求めやすい体制を目指す。

問 国・県・市・広域・NP O・民間等の役割分担をどのように考えるか。

問 男女共同参画(Fプラン)に

問 山崎別荘「凌雲荘」の復元を求める



「託児ルーム」のお知らせ

本会議・委員会を傍聴している間、小さなお子さんをお預かりする「託児ルーム」が利用できます。利用時間は午後0時45分から午後6時までです。利用される方は、前日の正午までに電話等でお申し込みください。

申し込み・問合せ 議会事務局
TEL 436-3022

議会のホームページ開設

新しい時代に即した情報公開の一環として、ホームページを開設しております。会議の予定、議決結果、会議録、議会のしくみなど、議会の活動を掲載しています。まだまだ十分とはいきませんが、これからも内容の充実を努めてまいります。アドレスは下記のとおりですが、市のホームページからもリンクされています。

<http://www.city.funabashi.chiba.jp/gikai/index.html>

～次の定例会は9月3日開会の予定です～

広報編集委員会

- 市議会たよりの適正な編集、発行を行うため設置されている広報編集委員会の委員は、次のとおりです。
- 委員長 斎藤 誠 (市民連合)
 - 委員長 高木 明 (公明党)
 - 委員 伊藤 昭博 (日本共産党)
 - 委員 佐藤 新三郎 (市清会)
 - 委員 中村 静雄 (新風)
 - 委員 さとう ももよ (小さな声ネットワーク)
 - 委員 中村 実 (ふなばし21)
 - 委員 早川 文雄 (清新会)